

出題 蜷雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の古文を活用形に気を付けて、現代語訳してみましょう。

- (1) 雨降れば、行かず。
- (2) 雨降らば、行かず。

豆知識 雑学コラム

活用形の下にくる言葉は？

入学式も終わり、いよいよ新しい学校生活が始まりました。高校でも本格的な古文の授業が始まってきました。高校の古文で最初に習う単元の一つは「古文の動詞の活用」です。中学校では現代日本語の動詞は未然形、連用形、終止形、連体形、假定形、命令形の六つの活用をすると習います。一方、古文の動詞の活用は未然形、連用形、終止形、連体形、已然形、命令形の六つで、現代日本語の假定形がなく、代わりに已然形が入ってきます。假定形と已然形はど

う違うのでしょうか、見ていきましよう。

まず、活用形の下にくる言葉を確認しましょう。現代日本語の假定形は「雨が降れば」のように下に「ば」が続くときの活用した形ですね。已然形も同じように「雨降れば」と「ば」が続くときの活用した形です。つまり、假定形と已然形は見た目や音声は同じと言えます。

では、何が違うのかというと現代語に訳したときの意味が違うのです。假定形は仮定つまり「まだそうならないけれど、もしそうになったら」という意味で使います。現代日本語で「雨が降れば」は「まだ、雨が降ってないけど」もし、雨が降るとしたら」と言い換えることができ

ますよね。では、已然形はどうでしょうか。已然形の「已」は「すでに」という意味で「すでにそうなっている」という意味です。つまり、已然形で書かれているときは「すでにそうなっているから」といった感じで訳します。古文で「雨降れば」と出てきたら「もう、すでに雨が降っているから」と訳してみましよう。

では、古文で「まだそうならないけれど、もしそうになったら」というようにすれば、良いのでしょうか。答えは「未然形を使う」です。未然形の「未」は「まだ」という意味ですから、「まだそう

【解答】
 (1) 雨が降っているから、行かない。
 (2) もし、雨が降るとしたら、行かない。